

私のひとりごと



ガーデンライトの蛍火

大貫 昌光(中刈)

私たちの中刈集落の高齢化率は41%と高く、これからの集落運営が年々大変になりつつあります。昨年からは、高橋集落と一緒に中山間地域等直接支払制度を活用し、まずはここに住む人たちが楽しくなければならぬという事で始めたのが、山形県棚田20選に認定された高橋の棚田(高橋集落から中刈集落へ入った所)へのソーラー式のLEDガーデンライトの設置です。昨年よりも今年は2倍に数を増やしました。暗闇の中に、蛍火のごとくロマンチックに灯る光景は、言葉が見つからない見事です。

私たちが井の中の蛙にならないよう都市部の方々の交流人口の拡大を図りながら、このような中山間地農業の実態と、清水で生産される美味しい農産物や緑豊かな農村生活を知っていただくことも、都市と農村の絆が生まれるよう、そして地域の活性化につなげていきたいと思いたいこのライト



に込められています。今後は、集落を担う若い人達やお母さん達のが発揮できる体制づくりをすすめるながら、農産加工品や工芸品、農家民宿や観光などに育てていければと考えています。
降雪前(10月下旬)まで点灯しています。澄んだ天空の星と地上の星を、ぜひ一度見に来てください。

行政視察に 来市された議会

福島県喜多方市議会 会派「創造喜多方」の4名が「ふるさと暮らし応援事業」や「地域おこし協力隊」など、尾花沢市のまちづくり事業の取組みについて行政視察に来られました。

お詫びと訂正
85号9ページの議会日誌の2月行事「行政クラブ」は、「市政クラブ」の間違いでした。

あとがき

議会改革の一環として議会だよりの編集方法を出来るだけ議員自ら分担協力して行えるように、編集作業と入稿作業両方を見直ししました。そしてなによりも市民目線での表現に変え、「市民と議会をつなぐ議会だよりづくり」をしたいと、編集委員会をひとつにして

努力してきました。作業の様子もこの2年は様変わりし、赤ペンとノートパソコンを道具に、ネット中継の録画を探り、他市町の評判の良いレイアウトやデザインを参考しながら、自分たちで企画からレイアウトまで手作りしています。

これからもできるだけ市内でホットな話題を特集記事にしたいと思っています。

今回7月で改選期を向かえ、大幅に編集委員の構成が代わりますが、今後も議会と市民をつなぐ、読んでみたくなる議会だより編集を継承していきます。(塩原 未知子)

議会を傍聴しませんか

◆次回の定例会は
9月2日(水)～16日(水)
までの予定です。
お気軽においでください。(議場は2階です)

尾花沢市議会

録画も
インターネット中継
市のホームページから
アクセスできます
www.city.obanazawa.yamagata.jp

発行／山形県尾花沢市議会 編集／市議会だより編集委員会

市議会だより編集委員
委員長 塩原未知子
副委員長 菅野 隆一
菅野 修一
大類 好彦
武田 佳久
星川 睦子

おばなざわ市議会だより

86号

平成27年9月1日発行

6月定例会

- 補正予算・議案の審議……………2
- 8月臨時会……………3
- 新しい議会の構成……………4
- 一般質問……………6～9
- 可決された意見書……………10
- 広域組合議会報告・議会日誌……………11
- 私のひとこと……………12

表紙写真：8月9日、芭蕉歴史の道で30人が衣裳一式をまとった山刀伐採体験ツアーが行われました。



平成27年度 一般会計補正予算総額

109億1,914万2千円

平成27年6月定例会が、6月1日から8日までの8日間の会期で開催されました。7議員が一般質問を行い、市当局の考えを質すとともに、平成27年度一般会計補正予算をはじめ、上程された9議案について慎重審議を行った結果、いずれも原案の通り可決しました。また、「平和安全法制」法案の徹底審議を求める請願など6案件を採択し閉会しました。

議案の審議

平成27年度一般会計補正予算(第1号)について

Q 徳良湖温泉のマッサージチェア購入は、どのような基準で行ったのか。

A 利用者の健康増進を目的に、市の備品として購入するものである。

Q 高性能の「マッサージチェア」不特定多数の方が利用することになる。



無料マッサージチェア

とで安全性に問題は無いのか。

A 導入の際は、メーカーや業者から注意点や仕様について説明を受け、安全対策には万全を期したい。

Q 障害者就労施設整備事業費補助金について説明願いたい。

A NPO法人はながさ作業所の就労支援施設が手狭なため、作業室や交流室を建設する補助金である。

Q 土地の分筆などの経費について市で負担する考えはないか。

A できるだけ援助できるように検討したい。



集落営農組織の蕎麦刈り

Q 今回の消防演習で、婦人防火協力班の軽可搬ポンプ操法訓練を中止した経過を伺いたい。

A 担い手が少なく、練習が大変なため、今回から操法訓練をしないこととした。

Q 農業経営法人化支援事業費補助金について説明願いたい。

A 集落営農は本市最大の課題で、現在ある

そばの集落営農組織の1団体が法人化するため補助する。

Q 花笠高原荘の老朽化調査業務委託料について、多額なリニューアル費用が必要な場合、どこまで公費を投入するのか。

A 大きな予算が必要となれば、検証委員会や全員協議会などを通じて判断を仰ぎ、将来の方針を決めていきたい。

Q 3月定例会では、新たに4年間指定管理

止した経過を伺いたい。

平成27年6月定例会賛否状況

(賛否の分かれた議案のみ掲載、他は全会一致)

| 議案番号 | 案件名 | 表決の結果 | 小関英子 | 星川睦子 | 塩原未知子 | 石塚三子 | 青野隆一 | 奥山格 | 五十嵐佳満 | 菅野修一 | 武田佳久 | 大類好彦 | 須貝孝 | 伊藤精一 | 鈴木敏正 | 加藤克彦 | 菅根光雄 | 大類準一 |
|-------|-------------------------|-------|------|------|-------|------|------|-----|-------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|
| 議第41号 | 平成27年度尾花沢市一般会計補正予算(第1号) | 議決 | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

○：賛成 ×：採決で起立しない議員 /：議長

8月臨時会

8月4日

補正予算の審議

ふるさと納税

Q ふるさと納税の事務は、インターネットを使うなど省力化が進んでいると聞いているが、臨時職員賃金の内容について説明を求めたい。

A 事務の省力化に努めているが寄附の申込者が大幅に増加しているため臨時職員を一名追加するものである。

Q 昨年の秋の返礼品、はえぬきは大変好評だった。今年の秋はどのようなものを考えているか。

A 米などを中心に新酒など特産物を考えていきたい。

人や市民に対し、使用道などのお知らせはどのようにしているか。

A 市民には市報で、納税した方には郵送でお知らせしている。

Q 昨年は、尾花沢市の人口を上回る1万8千210人のふるさと納税を頂いた。リピーターへの取り組みは、どのようにしているか。

A 若干職員の手で報

告書を郵送するとき、パンフレットやチラシなどを一緒に同封している。

Q 徳良湖温泉にマッサージ機の設置はいつか。また、他の施設にも設置してはどうか。

A 8月10日に設置予定である。また、他の施設については関係課と相談し検討したい。

デジタル防災行政無線整備工事契約の締結について

Q 今後公用車の交通事故をおこさないようどう取り組んでいくのか。

A 従来の職員研修に加え、無事故に向けて市民への模範となるよう安全運転の徹底を図りたい。



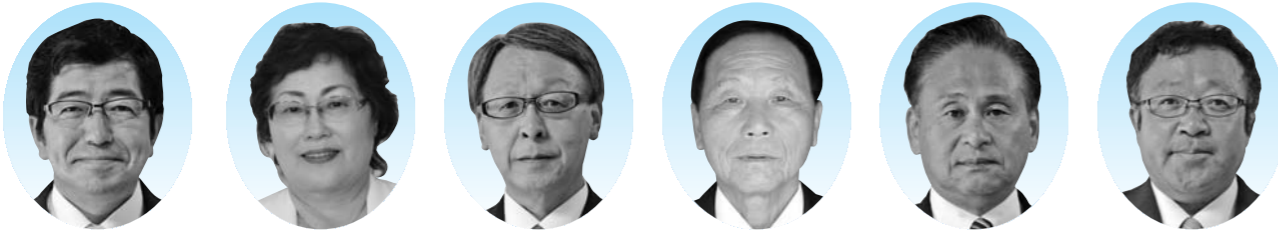
防災無線

Q 入札に対し8社中



H27年6月1日にリニューアルしたパンフレット

総務文教常任委員会



◎大類好彦 ○笹原和子 菅根光雄 須貝 孝 加藤克彦 鈴木 清

市民厚生常任委員会



◎星川睦子 ○伊藤 浩 鈴木敏正 奥山 格 塩原未知子

産業建設常任委員会



◎武田佳久 ○小関英子 菅野修一 青野隆一 鈴木裕雅

| | | |
|-------------------|---|----------------------------------|
| 議会運営委員会 | ◎菅根 光雄 ○鈴木 裕雅 奥山 格 大類 好彦 星川 睦子 小関 英子 | |
| 尾花沢市監査委員 | 青野 隆一 | |
| 尾花沢市農業委員会委員 | 伊藤 浩 | |
| 尾花沢市 都市計画審議会委員 | 菅根 光雄 奥山 格 小関 英子 塩原未知子 鈴木 清 | |
| 広域 組合 議会 | 尾花沢市大石田町 環境衛生事業組合 議会議員 | 菅根 光雄 加藤 克彦 星川 睦子 小関 英子 鈴木 裕雅 |
| | 北村山広域行政事務 組合議会議員 | 青野 隆一 塩原未知子 笹原 和子 |
| | 北村山公立病院組合 議会議員 | 菅野 修一 星川 睦子 |

8月臨時会

8月21日

一般会計補正予算に地域総合整備基金貸し付け事業費1億8千万円を追加し、総額11億8千704円とした。また、議員発議により7月12日の選挙で当選した鈴木敏正議員に辞職勧告決議案を可決した。

鈴木敏正議員に 対する議員辞職 勧告決議案

我々尾花沢市議会議員は、議会人として常に議会の品位を重んじるとともに、法の遵守に努めて行動しなければならぬ。今般、鈴木敏正議員が公職選挙法違反の容疑で逮捕されたことは、極めて遺憾である。
今般の事件は、選良として責任ある行動を

鈴木議員逮捕に関する8月21日臨時会開催までの経過

| 開催日時 | 内容(議題) |
|----------------------|----------------------------------|
| 8月12日(水) 午後1時～ | 会派代表者会議 (今後の対応、全協などの日程調整について) |
| 8月14日(金) 午前9時～ | 全員協議会 (議員の逮捕について) |
| 8月15日(土) 午前8時30分～ | 会派代表者会議 (今後の対応、全協などの日程調整について) |
| 8月17日(月) 午前9時～ | 全員協議会 (議員の逮捕について) |
| 8月18日(火) 午前11時～ | 会派代表者会議 (辞職勧告決議案などについて) |
| 8月20日(木) 午前9時～ | 議会運営委員会 (8月臨時会について) |
| 8月21日(金) 午後1時～ | 臨時会(辞職勧告決議案審議) 全会一致で可決 |

とらなければならない議員としてあるまじき行為であり、市民の負託を受けた市議会への信頼を著しく失墜するものである。鈴木議員の政治的、道義的責任は到底免れず、市民感情からしても許されないものである。そのため、尾花沢市議会としても、これまで会派代

表者会、全員協議会を複数回開催し、協議を重ねてきたところである。
鈴木議員は、自らの良識と判断において、速やかに市議会議員としての職を辞すべきであり、尾花沢市議会として同議員の議員辞職勧告決議案を提出するものである。

新しい議会の議長・副議長



副議長
須貝 孝

8月臨時会で、副議長にご推挙いただきました。浅学非才の私ですが、菅野修一議長を先頭に、元気で明るいまちづくりを、力を尽くし、議会改革を進めて、これまで以上の議会作りを進め

ていきたいと思っております。尾花沢市は、人口減少が進んでおり、小学校の統合が進み中学校の統合など、大きい課題があります。
若い人が一人でも多く尾花沢に残って、尾花沢のまちづくりに協力できる環境作りが必要だと思ひ、議会の場で提言し、市と議論しながら、尾花沢の人口減少の歯止を考え、まちづくりを進めたいです。



議長
菅野修一

去る7月12日執行の尾花沢市議会議員選挙にて、16名の新議員が決定し、8月4日の臨時議会にて議長に選任いただき、その職責の重大さに身の引き締まる思いでいっぱいです。
その後、議会に激震を走らす極めて残念な事態が発生し、市民の皆様からお詫びを申し上げる次第です。議会は、推移を見極めながら迅速なる対応に

努め、議会に寄せる市民の信頼の回復に、全議員一丸となって鋭意努力していく決意であります。
この度の選挙を通じ、多くの市民の皆様から「人口に見合った議員定数の見直しを是非」との声を頂きました。私達は真摯に受け止め市政に反映すべく努力を重ねていきます。
市民に開かれた議会をテーマに私たちはさらに研鑽に赴き、市民と共創、協働のまちづくりで、明るく元気な尾花沢市創生に誠心誠意努めていく決意でありますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

新庁舎建設の基本計画 進捗を質す



塩原未知子議員

Q 新庁舎建設の基本計画進捗はどうか。

A 3月25日に委託契約を締結し、4月23日に1回目の庁舎検討委員会を開催し建屋の配置や階構成、ゾーニングを協議している。今後は構造・設備計画の検討や外観・内観デザイン、概算工事費の検討作業を進めていくが、市民のみならず市の意見交換会、市報、ホームページを利用したパブリックコメントの実施、建築や雪対策などは有識者の専門的なアドバイスをいただき基本設計に対しての意見交換会を開く。

Q 昨年の米価下落で米作り農家の離農に歯止めがかからない。尾花沢すいか、最上早生のそば、雪降り和牛に続く「山形95号」など、市のブランド戦略と農政の今後はどうか。

A 今年3月、閣議決定された「食料・農業・農村基本計画」により農地中間管理機構を活用した農地集積を一層推進し、飯米から飼料米への転換や米以外の作物へ取り組む複合経営を推進していく。また95号は市報などでブランド名を募集し、今後本市のブランド米確立にむけ取り組んで行く。

Q 豪雪の影響で、白銀の滝付近の散策道の崩壊や山神神社の損壊が懸念されている。今後の修繕について対応はどうするのか。

A 白銀の滝付近の散策道は5月下旬に補修工事が完了しており、山神神社に関しては平成22年、文化庁の指導を仰ぎ「山神神社修理計画」を策定したが、修理・修繕を補助事業で行うためには、現在神社の法人が休眠状態であることから、まずは関係者に働きかけていきたい。

Q 国道37号と沿線市町の観光スポットを通る「(仮) ツールド37」自転車マラソンや「季節の写真公募展」など沿線市町と協力して行っているのか。

A 昨年6月に大崎市、加美町、大石田町、本市の「国道37号絆交流促進協議会」が発足し、部会をもうけて記念事業を検討している。連携する事でそれぞれの素材や魅力を活かした「体験型」や「食に特化した」交流ツアーなど広域観光につなげていきたい。

Q & A

一般質問

尾花沢市議会中継

検索

尾花沢市ホームページより議会中継の録画が視聴できます。

インフルエンザ予防接種に 助成の拡大を



小関 英子議員

Q 小・中学校の防災教育のために、どんな取り組みがなされているか。AED講習会の実施状況と継続の計画はあるのか。防災訓練の現状と改善点はあるのか。

A 避難訓練は各学校で年3〜5回実施している。内容は火災・地震・不審者対応などを想定して行っている。AED講習会は、ほとんどの小・中学校で、年1回全職員、保護者などを対象として、中学校では、生徒を含めて実施しているところである。講師は消防署職員のみならず、外部の講習会に職員を派遣

している学校も多数ある。各学校では教職員全員がAED操作を熟知できるよう指導していく。

Q インフルエンザの予防接種の現状はいかか。子育て世代(30代40代)でパート労働をされている方がインフルエンザに感染すると約1週間、就労することが不可能になり経済的に大変厳しい状態に陥った家庭があることを聞いた。子育て世代への予防接種の助成拡大の考えはあるか。

A 予防接種法に基づき実施される定期のインフルエンザ予防接種は、概ね65歳以上の高齢者が個人の疾病予防のために接種を受けるものとして位置づけられており、1人当たり、1千500円の接種料金の助成を行っている。26

年度は3千379名の方が受けている。子育て世代への助成をこのことであるが、任意接種となり自己負担することになる。

Q 少子化対策で、妊娠から出産までのような見守りと助成がなされているか伺いたい。

A 妊娠定期健康診査の公費負担制度がある。1回目1万円、2回目から14回目までは5千円と定められており、その他子宮頸がん検診等も含めると、8万2千790円となる。



母子健康手帳

企業振興対策と雇用対策の充実を



大類 準一議員

Q 市内既存企業の振興策と新たな企業振興の見通しはどうか。

A 昨年度より企業振興室を設け、企業対策専門員を配置し、既存企業への支援を行ってきた。県内外の企業を訪問し、先進的な取り組みを市内企業へ情報提供しながら、技術面や経営面でのアドバイスを行い、共に受注拡大に努めてきた。

企業懇談会と連携し、トヨタ自動車東日本株式会社を訪問。トヨタのものづくりに対する考えや最先端生産技術、作業の効率化など研修したほか、新春懇談会

では、山形大学の野長瀬先生を招き、農・商・工・観が連携した新たな産業創出について講演をいただいた。

さらに、雪対策に係る負担軽減を図るため、除雪機械購入や消融雪装置を設置した場合の補助制度と豪雪対策本部が設置された場合に適用される企業の除排雪経費に対する補助制度を新たに設け支援してきた。

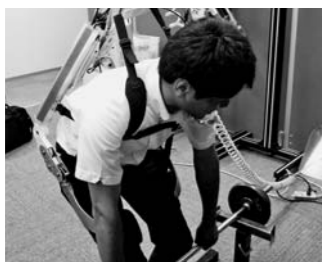
新たな企業振興の見通しは、市内5つの金属加工事業所が共同受注体制を構築するため連携を図っている。

今後の産業として、スイカの箱詰め作業の負担軽減を図るマッスルスーツなどロボット分野が期待される。

Q 雇用の確保について最近の状況と労働力

確保を含めた定住対策の考えはどうか。

A 現在福原工業団地内で4月中旬より、工場増設に着手し、事業拡大を進めている企業や企業の規模拡大に伴う雇用創出の動きが出ている。また、中学1年生を対象とした企業ふれあい学習会の開催や北村山高校の就職希望者の企業見学会や意見交換会を開催し、新規卒者の人材確保に積極的に取り組んでいる。



マッスルスーツの実演

新庁舎建設を 東京オリンピックピックまで延期を



加藤 克彦議員

Q 現在のワンストップサービスの効果はどうか。

A 現庁舎の中で、最大限、ワンストップサービスに取り組んできた。市民が訪れる機会の多い課のカウンターを相談しやすくし、移動距離を少なくしている。また、市民税務課の窓口で、役所の案内を行っている。新庁舎においては、なお一層のワンストップ化を図りたい。

Q 新庁舎建設を東京オリンピックまで延期し、将来人口を見据えた規模の見直しをしようか。

A 新庁舎は、庁舎機能に加え、防災センター機能と保健センター機能を配置することにし、本市の将来人口（平成32年で1万6500人）と国交省の基準に基づき、5千平方メートルと算定した。個別の相談室やエレベーターなどの利便性や、共有スペースの拡充を図ることとしている。今後、計画が段階的に進むと思うので、市民の皆さまに情報を提供しながら進めていく。

ものど期待している。ブランド化については、方向性と戦略を確認して、JAと協議しながら、慎重に進めたい。

Q 土地情報システム（GIS）と福祉支援システムに活用し、問口除雪などの充実を図ってはどうか。

A GISは平成13年度より導入し、市全図、地籍図などのデータを管理している。福祉支援システムについては、平成24年度に災害時要援護者支援システムを導入し、運用中である。GISは、個人情報保護の観点などや、導入や保守管理に多額の費用が見込まれることから、慎重に検討を行う必要があると考えている。



青野 隆一議員

国道347号線をどう活かすか

Q 国道347号線の通行にともなう企業誘致、通過点にさせない戦略、農産物の販路拡大をどう進めるのか。

A 福原工業団地の造成および用地取得奨励金を上限1億円まで拡充した。また、仙台圏での企業セミナーを開催するなどして、企業誘致につなげていきたい。通過点とならないよう、徳良湖や花笠高原への誘導を含め、関係機関と協議しながら進める。農産物拡大については、国道347号「絆」交流促進協議会農林部会において、販路拡大を検討している。

Q 中央診療所の医師が確保できない場合の職員の雇用確保など今後の運営をどうするか。

A 医療サービスを継続することが雇用を守ることにつながるので、後任医師の確保に努力する。

Q 山形市や山辺町を参考にして、新しい空き家活用策を講じる考えはないか。

A 空き家の実態把握に努めており、平成26年度の件数は、258件である。市は、ふるさと暮らし応援事業において助成を設けている。他市の事例については、今後参考にし、検討していきたい。

Q 国民健康保険の税率改定について、国保運営協議会の答申を議



福原工業団地内

案に上程しなかった経過と今後の対応について伺いたい。

A 答申については、議員全員協議会において、「市民の重税感」周知不足、「長期的展望に立った判断を」などの意見を受け、今回上程を取り下げた。今後、検討部会を立ち上げ、中期的計画を策定する予定である。

「まち・ひと・しごと創生」が 総ぐるものこ



菅野 修一議員

Q 「まち・ひと・しごと創生」総合戦略は、どう進んでいるのか。また、この施策の財源措置はどうなるのか。

A 「まち・ひと・しごと創生法」の目的の一つが人口減少に歯止めをかけることであり、人口ビジョンの策定を進めているところである。財源措置は平成26年に先行型として約4千600万円が決定され、28年度以降についてはまだ示されていない。

Q 本市は、農林畜産、観光や食資源の宝庫。豊かな資源を活用して産業創生を図るべきであるがどうか。地方へひとの流れをつくる

「まち・ひと・しごと創生」に取り組む不撤退の決意を伺いたい。

A 人口減少という大きな尾花沢を創生していくための重要な施策と位置付け、産・官・学・金・労・言の幅広い分野の方々の意見を結集し、安心して生活できる地域社会を形成していくような戦略になるよう進める。

Q 新庁舎建設は東京オリンピック後に市の声があり、オリンピック後に庁舎建設に取り組み考えがないか。

A 昨今、建築資材や労務単価が高騰しているが、新庁舎建設事業費については、こうした情勢も踏まえて算定したところである。現庁舎は地震が発生した場合倒壊の危険性が高

く、防災拠点としても建設は急務と考えている。身の丈に合ったコンパクトな庁舎とするよう基本設計作成を進め概算事業費を積算していきたい。

Q 長根山肥育牛団地などに水道の敷設を願いたい。ここには、4法人約30名前後の方々が肥育作業に従事しているが、水道施設がないため、飲料水を持参している。水道整備の計画はどうか。

A 平成24年、同組合から水道管設置の要請が出され、原則給水管は自己負担となっているが、農業振興の観点から協議を行った経緯がある。財政面での調整ほか、関係機関と協議を進めていきたい。

子どもの貧困救済を



石塚ミツ子議員

Q 子供の6人に1人は貧困状態にあるが、救済する考えはないか。

A 本市では、要保護児童対策地域協議会や家庭児童相談員、母子父子自立支援員の巡回相談事業などを中心に、保育園や幼稚園などの関係施設の情報提供と協力体制を求めながら、保護者に対して早期の段階での助言や援助に取り組んでいる。地方行政の財政負担には限度があることから、国に訴えかけていく必要があると考えている。

Q 貧困家庭に保育料免除、給食の無料化、奨学金制度の拡充、就学援助の改善、学習支

援などの救済をする考えはないか。

A 教育の機会均等の精神に基づき、要保護および準要保護児童生徒就学援助事業を実施している。高校進学者に対するおもたか奨学金は無利子で10年間の返済となっており、積極的な周知に努めたい。

Q 交通手段の乏しい高齢者へ福祉タクシー券発行はできないか。

A 現在、障害者や寝たきり高齢者の移動に対する支援を行っているが、高齢者タクシーについては今後、調査研究していきたい。

Q 高齢者が共同で暮らせる住宅建設を考えるとどうか。

A 将来の必要性は認識しているが、運営方法など、さまざまな検討事項を調査研究していきたい。

の個人負担をなくすべきと思うがどうか。

A 平成26年よりシルバー人材センターの除雪作業費が70円アップし、その分を市の負担として、3千円の個人負担を増やさないようにしている。今後の見直しについてを検討したい。

Q 除雪サポーター制度の創設を考えるとどうか。除雪機を持っている人が近隣者の除雪を低料金で支援する制度を作る考えはないか。

A このような取り組みは、現在、牛房野地区と細野地区で実施されている。地域住民同士の共助による仕組みづくりについて、支援していきたい。



牛房野除雪作業

広域組合議会の報告

採択された請願

◎平成27年請願第2号
一般県道銀山温泉線
流雪溝の整備促進に
ついでに請願
下柳区長

◎平成27年請願第5号
T P P 交渉に関する
請願
尾花沢市農業を守る会
会長 菅野 駿

◎平成27年請願第3号
消費税の増税の中止
を求める請願
消費税廃止山形県各
界連絡会 代表委員
遠藤 強

◎平成27年請願第6号
米価暴落対策の意見
書を求める請願
尾花沢市農業を守る会
会長 菅野 駿

◎平成27年請願第4号
年金積立金の安全かつ
確実な運用に関する
請願
連合山形北西村山地
域協議会
議長 奥山 純二

◎平成27年請願第7号
「平和安全法制」法
案の徹底審議を求め
る請願
鈴木ミツ工
高桑 順一
鈴木 清

可決された意見書

「平和安全法制」法案の
徹底審議を求める意見
書
政府は、争いを未然
に防ぐ力、抑止力を高
めることが必要だとさ

れており、今国会に提
出された「平和安全法
制」は、新法案である
「国際平和支援法」と
現行法10法案の「一部
改正」を一括した「平

和安全法制整備法」案
とで構成されたもので
ありますが、国民への
説明が不十分であるた
め疑問視する声も寄せ
られております。
今国会での成立にこ
だわることなく、国会
審議を通じてわかりや
すく国民が納得するま
で丁寧の説明し、徹底
した審議を求めます。

年金積立金の安全かつ
確実な運用に関する意
見書
1. 年金積立金は、厚
生年金保険法等の規
定にもとづき、専ら
被保険者の利益のた
めに、長期的な観点
から安全かつ確実な
運用を堅持すること。
2. これまで安全資産
とされてきた国内債
券中心の運用方法か
ら、株式等のリスク
性資産割合を高める
方向での急激な変更
は、国民の年金制度
に対する信頼を損な
う可能性があり、ま
た、国民の財産であ
る年金積立金を毀損
しかねないため、行
わないこと。
3. G P I F において、
保険料拠出者である
労使をはじめとする
ステークホルダーが
参画し、確実に意志反
映できるガバナンス
体制を構築すること。

T P P 交渉に関する意
見書
米や牛・豚肉などを
重要品目として除外又
は再協議を求めた国会
決議に違反しているも
のであり、重大な譲歩
提案は直ちに撤回すべ
きです。
日米両政府は、日米
協議の前進を契機に T
P P 全体を妥結させよ
うとしており、国会決
議から逸脱した重要品
目の大幅譲歩が明らか
になった T P P 交渉か
らの撤退を決断せざる
を得ません。
以上の趣旨から T P
P 交渉に関する国会決
議を順守し、守れない
場合は交渉から撤退す
ること。

ど明確な出口対策を
実施するなど、米穀
の需給調整を直ちに
行い米価の回復を図
ること。
2. こめ直接支払い交
付金の半減措置と米
価変動補てん交付金
廃止の撤回、生産意
欲の持てる飼料用米
等への助成水準引き
上げなど、農家の経
営安定対策をとるこ
と。
3. 平成30年産米から
の生産調整方針を撤
回すること。
4. T P P 交渉の日米
協議における米国産
米の輸入特別枠の合
意を直ちに撤回する
こと。
以上、地方自治法第
99条の規定により意見
書を提出いたします。

北村山公立病院組合議会

7月17日に北村山公立病
院組合議会の定例会が開か
れ、2億8千430万円の純損
失となり、未処理欠損金は
24億9千76万円となる事業
決算を認定し閉会した。北
村山公立病院における事業
収益は52億6千286万円で前
年度比2千377万円減少した。
このうち医業収益は49億1
千54万円。外来患者の減少
などが影響し、6千293万円

尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会

7月17日に北村山公立病
院組合議会の定例会が開か
れ、2億8千430万円の純損
失となり、未処理欠損金は
24億9千76万円となる事業
決算を認定し閉会した。北
村山公立病院における事業
収益は52億6千286万円で前
年度比2千377万円減少した。
このうち医業収益は49億1
千54万円。外来患者の減少
などが影響し、6千293万円

ごみ焼却施設煙突改修事業の実施に向けて

◎事業概要
ごみ焼却施設の煙突につ

議 会 日 誌

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 |
|---------------------------------------|--|-------------------------------|----------------------|--------------------------|
| 1日 議会だより編集委員会 | 8日 産業建設常任委員会 | 1日 本会議 | 5日 尾花沢市議会議員選挙告示日 | 3日 全員協議会 |
| 6日 議会だより編集委員会 | 11日 北村山二市一町議会正副議長連 絡協議会 | 2日 常任委員会 | 12日 尾花沢市議会議員選挙投票日 | 4日 本会議・議会だより編集委員会 |
| 8日 議会だより編集委員会 | 19日 佐々木則夫監督激励会 | 3日 本会議(一般質問) | 17日 北村山公立病院議会 第2回定例会 | 7日 山形県市議会議長会議員研修会 |
| 9日 東北市議会議長会定期総会 | 22日 環境衛生事業組合議会5月臨時会 | 4日 本会議(一般質問)・議会運営委 員会 | 23日 北村山公立病院議会 第2回定例会 | 10日 正副新議長あいさつまわり |
| 10日 議会だより編集委員会 | 25日 総務文教・市民厚生常任委員会 | 8日 本会議 | 27日 初会合・全員協議会 | 11日 新就任議員説明会 |
| 23日 総務文教・産業建設・市民厚生常 任委員会・庁舎建設検討委員会 | 26日 重要事業要望(県・総合支庁) 第3回千年希望の丘植樹祭2015 | 17日 第91回全国市議会議長会定期総会 全員協議会 | 29日 全員協議会・世話人会 | 12日 代表者会議 |
| 26日 春季消防大演習 | 30日 全員協議会・会派代表者会 | 19日 重要事業要望活動(国関係) | | 13日 議会だより編集委員会 |
| 30日 全員協議会 | | 24日 重要事業要望活動(国関係) | | 14日 全員協議会 |
| | | 26日 環境衛生事業組合議会全員協議会 | | 15日 第19回尾花沢牛肉まつり・成人式 |
| | | | | 17日 全員協議会・議会だより編集委 員会 |
| | | | | 18日 環境衛生事業組合議会8月臨時会 |
| | | | | 20日 庁舎建設検討委員会 |
| | | | | 21日 産業建設常任委員会 |
| | | | | 25日 議会運営委員会 |
| | | | | 26日 臨時議会・市民厚生常任委員会 |
| | | | | 28日 議会運営委員会・全員協議会 |
| | | | | おばなざわ花笠まつり参加 |